

# 自主防災会だより

発行者：東生駒南自主防災会

発行日：平成31年 3月15日

第18号



## 自主防災会で研修会を実施しました

昨年は生駒市でも、台風や大雨時の避難準備や、高齢者等避難開始発令が3、4回程ありました。このような災害の際は、あらかじめ時期も進路も予想されるため、避難所も開設でき、市職員の派遣も可能です。



しかし、地震が発生したときは、予測不能のため、発生後に、すぐさま、地元の住民で避難所を開設し、避難者への初期対応をした後、市・県・国などの応援を待たなければなりません。

そこで、当自主防災会もこのような時に冷静に対応と準備ができるような心構えと知識を習得するため、避難所運営について研修会を行いました。2月16日土曜日午後から、東生駒南自治会館において、自主防災役員、自治会役員を含め21名の参加がありました。

## 避難所運営ゲームHUG体験

生駒市防災安全課からお2人の講師をお招きして、「避難所運営ゲームHUG」を実施しました。この研修は「生駒断層帯直下型地震が発生、震度6強～7」と想定、「生駒東小学校」を避難所として、年齢、性別、国籍やそれぞれの抱える事情が書かれたカードを避難者と見立て、被災者が続々と避難所に駆け込んできたときの、避難所作りから、避難者の誘導などすべての備えや対応について、4、5人グループ毎にみんなの知恵を出し合って少しずつ解決の方法を探っていました。

### ◎体育館・校舎の配置図から避難所のレイアウトを考える

渡された模造紙大の体育館の図面から、**入口、受付、本部の位置**はどこにするか。**ポラティア**にも参加してくれそうな方の場所は、幼い**お子さん連れ**の場所は、介護が必要な**お年寄り**の方の場所はどこにするか。最終避難所が満杯になりそうなので、**通路を最初から決めてお**こうなど考えることはたくさんありました。



◎被災者が避難所に次々と避難してきました。さあ、どう対応しようか



**①40代夫婦と子ども2人**

避難しながらボランティア活動もしてもらえ  
そうなので、確認しておく。

**②93歳の夫婦**

介護の可能性があるので、本部の近くの場所  
に入ってもらおう。

**③男性40歳、31歳妻と1歳、3歳の幼児**

子供の泣き声で周りの人はどうだろうか。

離れた方がいいか、目の届くところがいいか？

**④災害対策本部から毛布が届くと連絡あり、荷下ろし  
の場所を決めるように指示あり**

西側の入り口から搬入し、舞台の上に置く。

**⑤避難者の問い合わせがあるので掲示板を設置する**

北入口の壁に連絡事項・安否情報を掲示する。

**⑥60歳世帯主は糖尿、58歳妻、長男引きこもり、  
ペットの犬を連れてきた**

**40代夫婦と12歳、5歳の子どもペットのネコを連れてきた**

1階の1年の教室に入ってもらおう。

**⑦トイレを使いたい**

使えるトイレを数か所に限定し、水が出ないので、  
プールの水をバケツに汲み置きして流してもらおう。

**⑧仮設トイレ5台が届く**

体育館西に5台並べる。

**⑨40代夫婦と12歳と重度知的障がいの5歳の子ども**

1階なのはな学級教室へ。

**⑩車中泊で避難生活をする人、避難してきた車、ボランティアの車の置き場所は  
緊急車両の通路を確保し、運動場を区分する。**

**⑪災害対策本部から「仮設シャワー1基が届きます」「安否確認のための情報開示の同意  
を取っておいてください」「ボランティア本部からニーズ調査に行くのでよろしく」  
「囲いなしのポータブルトイレが20基届きます」など次々と指示が・・・**



これは、われわれが研修した項目のごく一部の事例で、顔の見えないカードに書かれた情報に対応する体験ですが、自らも被災し、実際に家族が亡くなったり、ケガをしている人の顔を見ながら対応していたとしたらどうでしょうか。平生から避難所の施設や装備の準備は当然ですが、私たちの心の準備が何よりも大切だと感じました。

被災現場の取り組みからすれば、当自主防災会の取り組みもまだまだ発展途上で、入口に入ったばかりかもしれません。さらに研修、研鑽を重ね、実力をつけていかなければなりません。本地区も少しずつ、若い人も増えていますが、全体的には高齢化が進んでいます。住民みんなで「共助」「自助」できるよう努力していきましょう。